



株式会社ビジネス・ブレイクスルー(BBT)  
BUSINESS BREAKTHROUGH, INC.

# Newsletter Vol.2

2016/9/29発行

## CONTENTS

1. アオバジャパン・インターナショナルスクール 日本で5校目のIB全プログラム認定校へ…… p2
2. 今注目の国際バカロレア(IB)とは？ …… p3
3. 急増するグローバル人材需要に応える！BBTの英語 …… p4

### 【BBTについて】

グローバル環境で活躍できる人材の育成をミッションとして1998年に世界的経営コンサルタント大前研一により設立された教育会社。設立当初から革新的な遠隔教育システムによる双方向性を確保した質の高い教育の提供を目指し、多様な配信メディアを通じてマネジメント教育プログラムを提供。大学、大学院、起業家養成、ビジネス英語や経営者勉強会等多様な教育プログラムを運営するほか、法人研修の提供やTV番組の制作など様々な顔を持つ。2013年10月のアオバジャパン・インターナショナルスクールへの経営参加を契機に、生涯教育をサポートするプラットフォーム構築をグループ戦略の柱の1つとして明確に位置づけている。2016年度はアタッカーズ・ビジネススクール20周年、資産形成力養成講座10周年の節目であり、BBT大学大学院アントレプレナーコースの初年度となる。

在籍会員数約1万人、延べユーザID数は約20万。 <http://www.bbt757.com/>

—本件に関するお問い合わせ先—

株式会社ビジネス・ブレイクスルー PR担当 袴田

TEL:03-6271-0757 FAX:03-3265-1381 Mob:050-3396-2129

E-mail: hakamada@ohmae.ac.jp

## アオバジャパン・インターナショナルスクールは、2016年9月6日をもって日本で5校目(東京都で2校目)の全IB認定校になりました。

BBTが運営するアオバは、2016年9月6日、国際バカロレア機構(IBO)より国際バカロレア ミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の認定校として承認されました。

アオバは、2015年6月26日に国際バカロレアDP課程の、また、同年7月27日にPYP課程の公式認定校として承認されているため、今回のMYP承認により、初等部(PYP)、中等部(MYP)、高等部(DP)の全課程においてIB教育を提供できる体制が整ったこととなります。日本で5校目(東京都で2校目)のIB全プログラム認定校となりました。

### ◆アオバは、1976年創立の歴史あるインターナショナルスクールです

アオバは特定の宗教を持たない共学のインターナショナルスクールとして1976年に目黒区青葉台で開校しました。現在は練馬区光が丘(3歳~18歳)と目黒区青葉台(1歳~6歳)の2つの校舎で25か国以上、400名以上の生徒が学んでいます。卒業生は日本の大学も含む、世界中の大学へと進学しています。



### ◆アオバが目指す教育。「5つのコアバリュー」

- ・Global Leaders(グローバルリーダー)  
社会に責任を持って関わり、周囲を巻き込みリードできる
- ・Entrepreneurs and Innovators(アントレプレナー&イノベーター)  
世界に良い影響を与えるような新しいアイデアを生み出し実行できる
- ・Effective Communicators (効果的にコミュニケーションを行える人)  
自分の考えを簡潔に伝え、相手の意図を理解することができる
- ・Wise Risk Takers(リスクをとることを恐れない人)  
リスクを論理的に見極めながら、新しいことに果敢に挑戦できる
- ・Effective Problem Solvers(効果的に問題を解決する人)  
問題を様々な角度から分析し解決策を見出し実行できる



### ◆アオバのグループ校紹介

- アオバジャパン・インターナショナルスクール(光ヶ丘キャンパス/目黒キャンパス)
- サマーヒルインターナショナルスクール(港区元麻布)
- JCQバイリンガル幼稚園(晴海キャンパス/芝浦キャンパス)
- アオバジャパン・バイリンガルプリスクール(早稲田キャンパス)



### 【BBTの生涯教育のプラットフォーム】

BBTは、「世界で活躍できるグローバルリーダーの育成」をミッションにかかげ、主に社会人対象のマネジメント教育を1998年の設立以来提供し続けています。2013年、アオバのBBTグループ仲間入りを機に、1歳~18歳までのグローバル教育にも携わるようになり、幼児から経営者まで、全ての方に教育を提供できる教育プラットフォームの基礎が完成しました。

今後BBTとアオバは、アオバのIB教育のノウハウをプラットフォーム化し、グローバル教育に関心を持つ教育機関と共有する事により、国内のIB教育の普及と教育のグローバル化を支援したいと考えています。



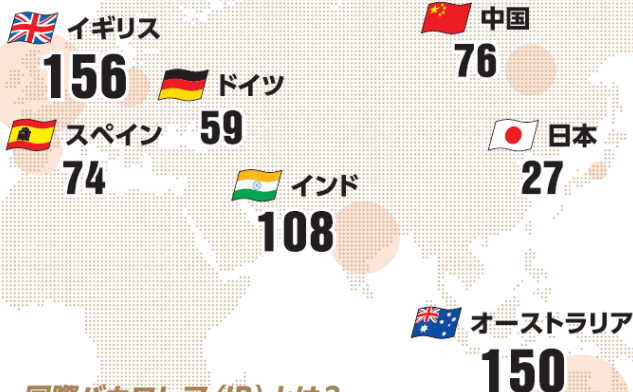
## 国際バカロレア(IB)とは何か？

国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的な教育プログラムである国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対応できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確認することを目的として設置されました。(参考:文部科学省HP)

### ◆3歳～19歳までを対象とした、世界で注目されている教育プログラム

国際的な視野を持った人材を育成するため、生徒の年齢に応じた教育プログラムを提供しています。以下の図のように、世界中でIBの認定校が増加しており、注目を集めていると言えます。

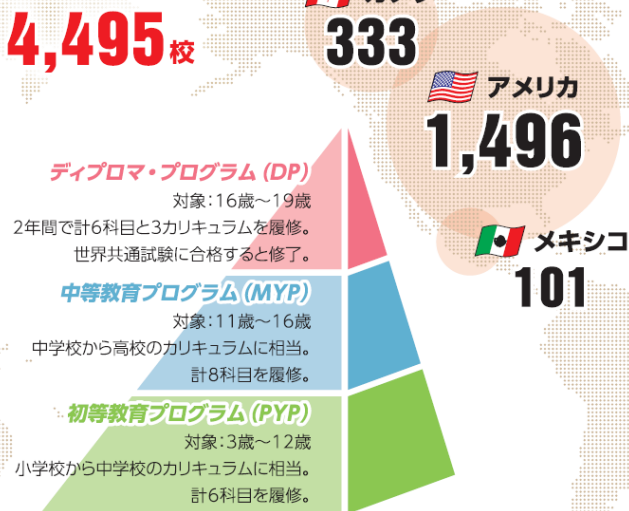
#### 各国のIB認定校数\*1



#### 国際バカロレア (IB) とは？

国際バカロレア機構が、インターナショナルスクールの卒業生に国際的に認められる大学入学資格を与えるために発足した教育プログラム。3歳～19歳の学生を対象に、3つのプログラムで構成される。

#### 世界のIB認定校数\*2



### ◆教科書の無い探究型の学習で身につく国際力

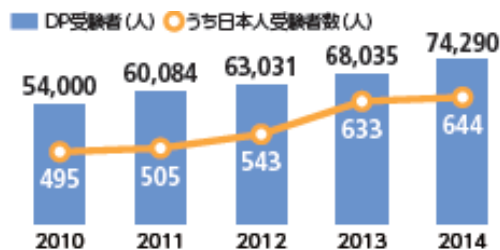
✓ グローバル社会で活躍できる力が身につく  
教科の枠にとらわれずに学ぶことや、自分で考え自分の判断で行動することなど、IBプログラムにはグループ・ディスカッションをはじめとした独特な授業を通じて、グローバルに活躍するための力を養うことができる要素が含まれています。

✓ 世界各国の大学で、正規の受験・入学資格に  
DPの認定証書は、世界中の大学で入学資格や受験資格として認められており、国内のみならず海外の大学に進学したい人にとっても大きな機会です。

### ◆日本の動きと今後のトレンド

✓ 「DP認定校200校計画」を閣議決定  
政府は「日本再興戦略」(2013年6月閣議決定)に基づき、DP認定校を2018年までに200校に増加させることを目指しており、今後全国で導入が進むとされています。

✓ 認定校・受験者数ともに増加中  
▼国際バカロレア資格取得状況 ※3



✓ 法人や学校でも採用・合格基準に  
日経連が、企業の人事におけるIBの適切な評価を促すコメントを出したほか、一部の大学入試でも活用が始まっています。

※1 国際バカロレア日本アドバイザー委員会「報告書・各国のIB導入校数」(2014年3月)  
※2 文部科学省「世界における国際バカロレア認定校数」(2016年4月)  
※3 文部科学省「国際バカロレア資格の取得状況」

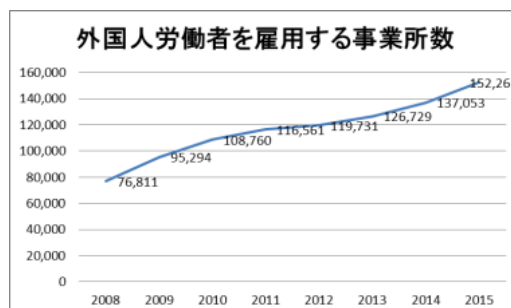
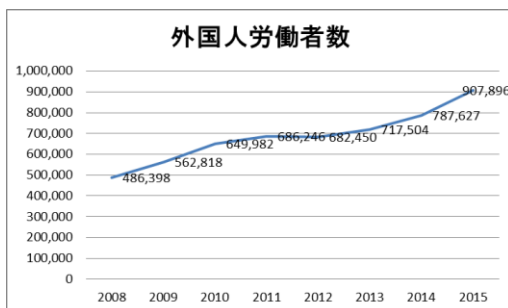


## 急増するグローバル人材ニーズを背景に危機感を持つビジネスパーソン

急速にグローバル化が進む昨今、海外に出張や赴任する人だけでなく、日本で働くビジネスパーソンにもその波は確実に押し寄せてきています。厚生労働省の統計によると、2015年10月末現在、日本における外国人労働者数が過去最高の91万人に達しました。日本のビジネスパーソンは、さらに進むことが予測される日本国内のグローバル化にも対応することが求められてきます。

### ◆増え続ける在日外国人労働者

外国人労働者数も、外国人を雇用する事業者数も年々増え続けており、2015年10月末時点で労働者約91万人、事業所15万超。



出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

### ◆企業の「グローバル人材」のニーズは5年で約2.5倍

2012年に経済産業省が実施した調査によると、2017年に必要とされるグローバル人材の数は400万人以上。これは総常用雇用者数の8.7%に該当(2017年初の総常用雇用者数推計47,233,362人)。

#### 「グローバル人材」需要量(推計)

2012年	2017年
1,687,871人	4,118,562人

出典：「大学におけるグローバル人材育成のための指標調査」(経済産業省 平成23年度)

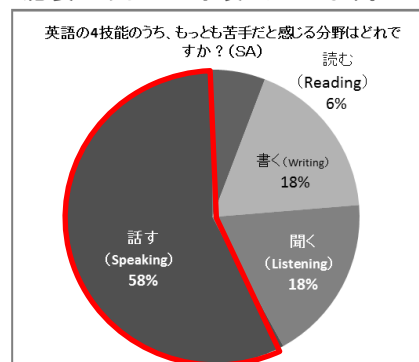
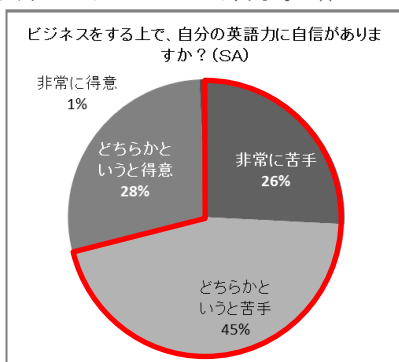
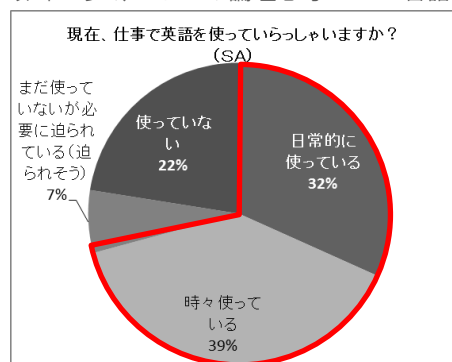
また、経済産業省の「就業構造の将来予測について」(平成24年)では、企業が求めるグローバル人材における要件として「外国人と外国語で商談や会議を行うことができる」、「外国人とチームを組み、課題を発見し改善活動を行う」などが高い数値となっており、単なる語学力ではなく、国際的な環境下でビジネスを遂行できる総合力を求めている姿勢が読み取れます。

### ◆ビジネスパーソンの8割弱が「英語に危機感を感じている」、7割は「既に仕事で英語を使っている」と回答

2016年5月にBBT実践ビジネス英語講座がメールマガジン読者を対象に行った調査(N=240)では、「現在、仕事で英語を使っていますか」という質問に対し、70.8%の人が何らかの形で使っていると回答。また、「ビジネスで英語が必要になるかもしれない(なっている)」という危機感がありますか?という質問に対しては、76.2%の人がであると回答しています。

しかしながら、同調査の中でビジネスをする上で自分の英語力に自信があるかを問う設問では、7割以上の人が「苦手」と回答しており、今後の課題が示唆されています。

さらに調査結果からは、スピーキングに苦手意識を感じている日本人のビジネスパーソンが浮かび上がってきます。また、瞬時の対応を求められる対話やプレゼンテーション、mtgなどオールコミュニケーションの場において過去に失敗したと認識しているビジネスパーソンが非常に多く、マインドや論理思考といった言語以外のスキルについても、同時に伸ばしていく必要があることが示唆されています。



出典：ビジネス・ブレイクスルー実践ビジネス英語講座アンケート結果(2016年5月実施、n=240)

## 講師の採用倍率は40倍以上。多くの法人企業にも導入されている「BBTオンライン」と「実践ビジネス英語講座」

BBTの提供する英語教育は、英語の習得を目的とするのではなく、実際にビジネスを動かすためのツールとしていかにうまく使いこなすか、という点を重視しています。

### ◆実際のビジネスシーンを想定し、ビジネス経験のある講師とビジネスの結果に繋がる英語を学べるオンライン英会話「BBTオンライン」

- ✓ 延べ受講者数は1万4千人(2012年開講)
- ✓ 採用企業は80社以上。うち、40社以上が幹部育成や中堅を育てる「選抜研修」にBBTOを採用
- ✓ 講師は9割以上が正社員。100%ビジネス経験者
- ✓ 講師の採用基準は厳しく、採用倍率が44倍の期も



### ・講師の9割以上が正社員。100%ビジネス経験あり。トレーニングを兼ねた厳しい試験で選抜

本当のビジネスの現場を想定したロールプレイや、実際のビジネスシーンでの話し方などを踏まえてレッスンが進められるよう、大卒資格をもち3年以上のビジネス経験がある方のみを講師として採用。欧米企業などグローバル環境下でのビジネス経験豊富な講師がそろっています。オフィスへの出勤が義務付けられており、専用のトレーナーが講師を個別にウォッチ。カウンセリングや各講師の経験に合ったトレーニングを全員に継続的に提供しています。

### ・ビジネスの具体的なシチュエーションを想定し、TPOも考慮して使い分けられる言葉を練習できる教材

ハーバードビジネススクール卒業、有名な英会話スクールGabaの創業者である青野伸達教授をはじめ、海外駐在経験豊富な講師陣が開発した教材は、ターゲットフレーズを暗記するのではなくinternalize(内在化)し、具体的なシーンの中で対処する力を身に付けることを目的としています。

## ◆英語力+αでビジネスで結果を出せる人材を育成する「実践ビジネス英語講座(PEGL)」

グローバルで活躍できる人材の育成をミッションとしている「実践ビジネス英語講座(PEGL)」では、グローバルビジネスにおける標準語とも言える「論理的思考力」、異文化を理解し対処するマインド(EQ)「異文化理解力」を「英語コミュニケーション力」と同時に学べます。経営コンサルタントの大前研一が監修した本プログラムはブロークンでも相手に伝わり相手を動かし、ビジネスで結果を出せる英語でのコミュニケーション力の習得を目指しています。

### ・論理的思考力や異文化理解力も鍛える独自のカリキュラム

「グローバルコミュニケーション力」とは、表現力やニュアンス等も含む「英語力」に、「考える力」、「マインド」を加えたもの。相手に伝わりやすい言い方で相手を傷つけることなく伝える力、相手の価値観を受け入れる力、世界の共通言語とも言われる論理的思考力などがこれらに含まれてきます。



**★ 一番人気! ★**

◆ 中級 [目安/TOEIC® 450-700点] ◆

スタンダードなビジネスコミュニケーションスキルを修得する

より広がる 英文技術の修得	シーン別 異文化コミュニケーション法	グローバルマインド ロジカルシンキング
---------------	--------------------	---------------------

全てのビジネスパーソンに必要なグローバルスキルを厳選。実際のビジネスシーンを想定したカリキュラムで、今すぐ実践で使える英語スキルとアウトプット力を身につけます。

**★ オススメ! ★**

◆ 上級 [目安/TOEIC® 700点以上] ◆

グローバルリーダーに必要な総合力を形成する

論理的思考力・問題解決能力のアウトプット	ケース別 MBA講座・入門・	グローバルリーダーの思考法・基礎・
----------------------	----------------	-------------------

グローバルリーダーに必要なマネジメントスキル・MBA入門知識を学び、プレゼン・スピーチ・交渉力を強化。英語の講義が主体となり、より具体的なアウトプットに、ネイティブにも負けない、ワンランク上の実践スキルを修得します。

### ・講師は全員、第一線で活躍するグローバルリーダー



英語を使ってビジネスをどのように展開し、人を説得し動かすのかなど、「結果を出す」ための英語コミュニケーションを経験知をもって指導できる講師を厳選。

### ・全てオンラインで完結。

### PC、スマホの「遠隔学習」でスキマ時間を活用

○動画による講義受講、オンラインディスカッション、スカイプ英会話、英文添削等、多方面からトレーニング

○インターネット環境があれば世界中どこからでもアクセス可能  
出張中、海外赴任中のビジネスパーソンにもご利用いただいています。190ヶ国以上からのアクセス履歴も確認しており、「BBTオンラインで英語を強化している」というアメリカ在住、飲食店経営者の方などもいらっしゃいます。